



△ライトウォーム



ソフトクール△

▽ディープウォーム



ハードクール▽

イメージで分ける
牡丹

● ライトウォーム

牡丹は花の王と言われる。

明るさと温かみを感じさせる花として「八束獅子」を選んだ。花びらの白い部分にやや黄味を感じさせる。

● ソフトクール

牡丹は八世紀の中国から渡来した。

白い牡丹から「連鶴」を選んだ。柔らかみのある白い花卉に濁りが感じられない。ソフトクールのイメージに相応しい。

● ディープウォーム

牡丹は古くから文人墨客に愛されて障壁画の画題として多く残されている。

黒みがつよい赤の「黒鳥」を選んだ。王者の風格を感じさせる花である。

● ハードクール

牡丹色という色名があり、この色である。江戸時代から現代までつづく有名な栽培地が島根県大根島である。「島大臣」を撰ぶことにした。

(制作 : やすなが)